

「地域が抱える教育課題を共有し、その解決に向けた交流を行い、  
連携して塩山中学校区の子供たちを育てていこう」

I 主題設定の理由

小中連携は、「地域とともにある学校」づくり、小学生の中学校進学に対する不安感を軽減し生徒指導上の諸問題に対応していくこと、9年間の系統性を確保し義務教育の目的・目標に掲げられる資質・能力・態度等をよりよく養えるようにしていくこと等の目的をもって進められている。塩山ブロック交流研究会においても、小学校・中学校の教職員が共通理解を深め、同一の課題意識のもと、子供たちの育成にあたる必要がある。そのため、地域が抱える教育課題を共有し、その解決に向けた交流を進め、地域に根ざした教育の在り方を追究していくこととした。

II 研究の具体的内容

1 第1回ブロック交流研究会「臨地研修」

- (1) 日時 平成28年8月5日(金) 13:30～16:30
- (2) 目的 塩山中学区の国宝や文化財等を見学し、地域素材の教材化を図る。
- (3) 内容 臨地研修

① 国宝・歴史コース

大善寺薬師堂で住職さんから歴史について話を聞いたり、柏尾の合戦(新選組)について甲州市観光ボランティアの方から話を聞いたりして学んだ。

② 文化財・地場産業コース

神金上条集落の古民家について甲州市文化財担当の方から話を聞いたり、甲州市給食センターでも使っている有機野菜の栽培農家を見学したりした。

③ 理科実験コース

科学の楽しさを味わわせる面白実験を体験した。

④ 出前授業コース

産業技術短期大学の出前講座として、Scratchで簡単プログラミングを体験した。

2 第2回ブロック交流研究会「塩山中学校授業公開及び情報交換会」

- (1) 日時 平成28年11月16日(水) 14:00～16:30
- (2) 目的 塩山中学校の授業の様子を小学校の教職員が参観し、交流を図る中で、塩山中学校区の課題を明らかにし、連携した教育実践を進める。

(3) 内容

ア 塩山中学校の授業の様子を参観する。

イ 学年ごとの分科会に分かれ、話合いの柱について情報交換・意見交流を行い、

小学校・中学校が連携した教育実践が進められるようにする。

【話合いの柱】

①授業を参観しての感想・意見交換について

子どもたちの様子（学習面・生活面・行動・環境面）について情報交換を行った。

②家庭学習の取り組み方について

各校において、家庭学習の手引きの活用状況、取り組み内容について情報交換を行い、小中連携を図った。

3 第3回ブロック交流研究会「塩山北小学校授業公開及び学習会」

(1) 日時 平成29年1月18日(水) 14:00～16:30

(2) 目的 奥野田小学校の授業の様子を参観し、意見交流を図る中で、塩山中学校区の課題を明らかにし、連携した教育実践を進める。

学区から出土した遺跡について学習することで、地域素材の教材化を図る。

(3) 内容

ア 奥野田小学校の授業の様子を参観する。

イ 学習会

テーマ「甲州市の歴史と遺跡物について」

講師 入江 俊行氏（甲州市役所 文化財課）

甲州市給食センター建設時に出土した遺跡をはじめ、市内の遺跡物について紹介していただき、甲州市の歴史について学んだ。

### Ⅲ 成果と課題

臨地研修では、「大善寺の国宝や柏尾の合戦など、近くにありながらなかなか知らなかった内容を、丁寧に説明していただき参考になった。」「異校種の交流が図れた。」「上条集落を見学し、歴史や文化を改めて学べた。」「食の安全性について再確認できた。」「楽しい実験や科学工作をたくさん紹介していただき、導入や興味づけ、まとめにも参考になる内容でとてもよかった。」「自分で作りながら実験することができ、楽しく学べた。」「新学習指導要領に関係したプログラミングについて体験でき、大変良かった。」「資料が充実していて、作業がとてもスムーズに進み、良い内容だった。」など、多くの成果が挙げられた。交流会では「家庭学習の取組方」という視点で情報交換し、小中連携を図ることができ大変有意義だった。さらに3回目の学習会でも、甲州市の遺跡についてなかなか学習できない内容を説明していただき、良かったという声が寄せられた。

また、課題としては、「臨地研修の集合時刻や参加者のバランスを考えていきたい。」という改善すべき点と、「小学校の英語活動や道徳の教科化に向けて、小中での情報交換や学習会を企画したい。」など、前向きな意見が挙げられ来年度へ生かしていきたい。

(ブロック長 小椋 規雄)